

読書の家から



新刊案内

■あぶた読書の家

△一 般▽▽昭和天皇第六部
/第七部(福田和也)▽死ぬまで
に行きたい!世界の絶景/死ぬ
までに行きたい!世界の絶景
日本編(詩 歩)▽親の家を片付
ける(主婦の友)▽農家が教える
至福の漬物/加工・保存・貯蔵
の知恵(農文協)▽脳の疲れを取
る本(蓮村誠)▽毒きのこ(監修
・白水貴)▽型紙ずすの「黒着物リ
メイク」(松下純子)▽山本周五
郎長編小説全集(全26巻)第21
巻・第22巻「虚空遍歴(上下)」▽
二千七百の夏と冬 上・下(萩
原浩)▽ぎん言(ぎんさんの娘・

4姉妹)▽遺譜 上・下(内田康
夫)▽神の子 上・下(葉丸岳
▽すえずえ(島中恵)

△児童書▽▽わたしはマララ
(マララ・ユスフザイ/クリス
ティーナ・ラム)▽武器より一
冊の本を下さい(ヴィヴィアナ・
マツツア/横山千里訳)▽ぱっ
ぴぷっぺぼん(もろかおり/う
しろよしあき)▽パオくんおじ
さんと夏(かまだしゆうぞう)

■年末年始の貸出し

毎年恒例の年末特別貸出しを
12月22日より行います。一人5
冊。期間は2週間。

■みずうみ読書の家

△一 般▽▽紙の月(角田光代)
▽かぼちゃ小町(和田はつ子)▽

今月の1冊



ゆきだるまの クリスマス!

文/キャラリン・ピーナー
絵/マーク・ピーナー
訳/せなあいこ

クリスマス・イブには、
みんな、つぎのあさをたの
しみにして、ぐっすりねむ
っているでしょう? でも
ね、ゆきだるまたちはわい
わいあつまって、おいしい
ものをたべたり、うたをう
たったり、おおさわぎ!
みんなしてた? ゆきだ
るまのひみつがのぞけ
るすばらしいクリスマス
・イブにあなたをこ
しょうたい。



警視庁FC(今野敏)▽暗殺/神
君狩り(佐伯康英)▽物語のおわ
り(湊かなえ)▽フォルトルーナの
瞳(百田尚樹)▽風花帖(葉室麟)

▽アイネクライネナハトムジ
ク(井坂幸太郎)▽北の自然を生
きた縄文人・北黄金貝塚(青野
友哉)▽嫌いなのに離れられな
い人(加藤諦三)▽地球はどうし
てできたのか(吉田晶樹)▽地
域は災害を警告する(遠藤宏之)

洞爺総合センター図書室

△一 般▽▽東京プリズン(赤
坂真理)▽聖なる怠け者の冒険
(森見登美彦)▽うどんのうーや
ん(岡田よしさく)▽雨がしくし
く、ふった日は..6月のおはな
し(森絵都)作 たかおゆうこ..
絵)▽重機の世界|| WORLD
OF MONSTER MA
CHINES(高石賢二)

●開館時間

午前10時より午後4時20分まで

●12月休館日

11日・18日・23日・25日・1月
8日

(毎週木曜日・祝祭日休館)

あぶた読書の家 ☎76・2100
みずうみ読書の家 ☎75・4702

わたしのうた



短歌

【あぶた短歌会】

十一月定例会

秋高し残りのいのち動かして

頑張りますよとふかく息する

庭の木の剪定終りて冬を待つ

残りし小菊は未だ香りぬ

何事もやらねばならぬ日々なれど

ビタミン不足かすぐに動けず

買物に出かける日を思ひつつ

杖にすがりてようやく歩く

霜降りて庭の千草も咲き終わり

静けさ風情のおもむき楽しむ

俳句

【あぶた俳句会】

十一月定例会

冬隣りササラ電車も出番待

大綿の気儘に浮きて季を告ぐ

山奥の丸太伐る音冬近し

直立の並木爽やかトラピスト

綿虫の槌音冴えて湧きに沸く

眷属に幼も入りて稲架かくる

菜園の萎へし朱のもの冬近し

大西 芳子

北島 加代

太田 智

山木 孝

元田 フジ子

三瓶 修

佐藤 美風

小笠原 勇

矢野 知子

那須 伶子

千葉 征子

菅原 敏子